

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第5区分

【発行日】平成17年10月27日(2005.10.27)

【公開番号】特開2003-95155(P2003-95155A)

【公開日】平成15年4月3日(2003.4.3)

【出願番号】特願2002-211461(P2002-211461)

【国際特許分類第7版】

B 6 2 D 55/24

【F I】

B 6 2 D 55/24

【手続補正書】

【提出日】平成17年7月19日(2005.7.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項3】

内周部にあるガイドラグと、外周部にあるゴム製トレッドと、周方向に連続的に延びる肉薄バンドとを有する、弾性を有する無端の無限軌道用の型であつて、

トレッドラグを形成する半径方向外側の成形部分と、前記ガイドラグを形成する半径方向内側の環状のコアとを有し、

前記コアは、分離可能にかみ合う第1および第2の部分を有し、前記第1および第2の部分のそれぞれは、環状の端部から延び互いに間隔をおいて位置する複数のスパークを有し、かみ合わされて組み立てられた前記第1および第2の部分は、前記第2の部分の前記スパークに隣接し前記第2の部分の環状の端部から間隔をおいて位置する前記第1の部分の前記スパークを、前記半径方向内側のコアの外周部に有し、前記第1の部分の環状の端部から間隔をおいて位置する前記第2の部分の前記スパークを、前記半径方向内側のコアの外周部に有し、前記環状の端部と前記スパークとの間に形成されている空間が、前記ガイドラグ用のキャビティを形成している、弾性を有する無端の無限軌道用の型。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

この改良された型は、トレッドラグを形成する半径方向外側の成形部分と、ガイドラグを形成する半径方向内側の環状のコアを有する。半径方向内側のコアは、分離可能に噛み合う第1および第2の部分を有する。第1および第2の部分のそれぞれは、環状の端部から延び互いに間隔をおいて位置する複数のスパークを有する。半径方向内側のコアの第1および第2の部分が組み立てられて噛みあつてある時に、半径方向内側のコアの外周部において、第1の部分のスパークは第2の部分のスパークと隣接し、第1の部分のスパークは、第2の部分の環状の端部から離れている。第2の部分のスパークも、半径方向内側のコアの外周部において第1の部分の環状の端部から離れている。環状の端部とスパークとの間に形成されている空間が、ガイドラグ用のキャビティを形成している。